

2011年度ドーピング検査

報告書

1. 日 時 : 平成23年10月22日(土)～23日(日)
2. 場 所 : 大阪府立体育館(大阪府大阪市)
3. 対象競技会 : 2011年JBDFプロフェッショナルダンス選手権大会
4. 検体数 : 6検体
5. 検査員数 : リードDCO2名、DCO4名、シャペロン6名(計2日間)
6. 内 容 :

本連盟は、財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)に加盟し、スポーツとしての価値及び競技の公平性、さらには選手の健康を守ることを目的とすると共に、健全なる屋内スポーツとしての確立に寄与するため、ドーピング検査を実施した。

検査対象選手については、抽選により選出された。

本大会におけるドーピング検査は3回目となり、選手達も協力的で、特に問題もなく円滑に終了することが出来た。

検査を受ける選手に対しては、検査完了までの時間を活用して、待合室にアンチ・ドーピング関連の資料を置くことで知識の向上を図った。

競技会前に風邪をひいたため、どういった薬を飲んだらよいかとの問い合わせがあり、アンチ・ドーピングに対する意識が恒常化していることが伺えた。今後も引き続き、選手全員がドーピングに関心を持つよう、啓蒙活動に努力していく。

平成23年度スポーツ振興くじ助成金(toto)の助成を受けて検査を実施した。
7. 検査結果 : 対象選手全員において、禁止薬物は検出されなかったとの判定を得た。

以上